

**令和7年度
宮崎県職員採用試験
【大学卒業程度（建築（社会人））】**

専門・経験論文試験課題

<課題> ※ 専門論文課題に限る

県有建物は、多くが昭和40～50年代に整備されており、現在、老朽化の問題を抱えています。これらは、同時期に整備されたため、今後一斉に改修や建替えの時期を迎え、それが長期間続き、多額の費用を要すると見込まれているため、財政負担の低減化・平準化を図る必要があります。加えて、少子高齢化社会の進展に伴い、本県の人口はおよそ20年後に約8割、およそ50年後に約5割に減少することが見込まれており、将来的により厳しい財政状況が懸念されます。

その一方で、最近の物価高騰や人件費の上昇が続く中、県内外では大型物件の工事が進み、職人や技術者の不足も相まって、入札の不調・不落も見られます。特に設計積算、入札から契約までの期間が長い大型の公共工事では、契約までの期間の物価・人件費上昇に対応できないため、入札の不調・不落のリスクが高く、再入札につながる例も見られます。

このような中、私たち建築技術職員は、公共の財源・資源を有効に活用するため、確かな技術力を持つ公務員として、良いものをイニシャル・ランニングコストともに安く、かつ多様なニーズにこたえる施設整備を行っていく必要があります。

そこで、今後必要となる維持管理費用の低減化においては、受注者にも無理のないことが前提で建築工事の合理化や効率化が必要となりますが、あなたが考える建築工事の合理化や効率化における課題を挙げ、その解決に向けてあなたが取り組みたいことを述べなさい。